

2021年4月11日

祈りの時

詩篇14篇1～7節

< 14 > 指揮者のために。ダビデによる

14:1 愚か者は心の中で、「神はいない」と言っている。彼らは腐っており、忌まわしい事を行っている。善を行う者はいない。

14:2 【主】は天から人の子らを見おろして、神を尋ね求める、悟りのある者がいるかどうかをご覧になった。

14:3 彼らはみな、離れて行き、だれもかれも腐り果てている。善を行う者はいない。ひとりもいない。

14:4 不法を行う者らはだれも知らないのか。彼らはパンを食らうように、わたしの民を食らい、【主】を呼び求めようとはしない。

14:5 見よ。彼らが、いかに恐れたかを。神は、正しい者の一族とともにおられるからだ。

14:6 おまえたちは、悩む者のはかりごとをはずかしめようとするだろう。しかし、【主】が彼の避け所である。

14:7 ああ、イスラエルの救いがシオンから来るように。【主】が御民の繁栄を元どおりにされるとき、ヤコブは楽しめ。イスラエルは喜べ。

1 1～2節を読みましょう。愚か者をヘブル語ではナバルと言います。サムエル記第一25章にナバルという愚かな男が登場します。カルメルの野で羊の番などでダビデにさんざんお世話になっておきながら、ダビデは間もなくサウルの手によって殺害されると予想して困窮しているダビデのしもべが食料を求めた時、何も与えず辱めて追い返しました。愚か者は神の支配を認めず刹那的自己利益に生きています。

2 2節のことばを味わい祈りましょう。【主】は天から人の子らを見おろして、神を尋ね求める、悟りのある者がいるかどうかをご覧になった。天から見下ろしておられる主を信じて、神を尋ね求め、悟りある生活が出来るように祈りましょう。

3 3～4節を読みましょう。ダビデがサウル王に誠実を尽くしてもサウル王はダビデを妬み何度も殺そうとしました。神はいない、神は助けてくれないと信じる愚かな者、神を信じない者はダビデを見捨てて自己の都合で生きています。そんな中で生きていかなければならないときも天におられる主を信じて祈りましょう。

4 5～7節を読みましょう。主は彼の避け所と信じて祈っています。神様からの救いが来るように祈り、神様の正しい支配、裁きがありますので、神様の時を信じて神様の支配の回復の時を信じて祈り続けましょう。

2021年4月第2の主の日の礼拝、

先週はイースター礼拝です。

イエス様は復活後40日の間、弟子たちに洗われてご自分の復活の確かさを示し、弟子の信仰を確かなものとされました。

イエス様を心の中心にお迎えして復活の力、恵みに与って

勝利の毎日を歩みましょう。

試練、戦いの中におられる方々、主を求めておられる方々が

復活のイエス様の力を受けて信仰によって歩まれるように祈りましょう。

礼拝、その他の集会が祝福されるように祈りましょう。

リモートで礼拝を守っておられる方々が祝福されるように祈りましょう。

あたらしく教会に来られる方々が豊かな祝福を
受けられるように。

家族、子供たち、新しい道に進まれる
友のことを覚えて祈りましょう。

コロナ下で一人一人が守られるように、
教会の集会も守られるように祈りましょう。

主の祈り

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国を来たらせたまえ
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく
我らの罪をも赦したまえ
我らを試みにあわせず
悪より救いいただいたまえ
国と力と栄えとは
限りなく汝のものなればなり アーメン